

令和1年 大学院共通科目 国際研究プロジェクト 公開報告書

「エッサウイラ旧市街における都市空間と祭りの関係性から見る祝祭空間の都市形態に関する研究 ～グナワワールドフェスティバルを事例として～」

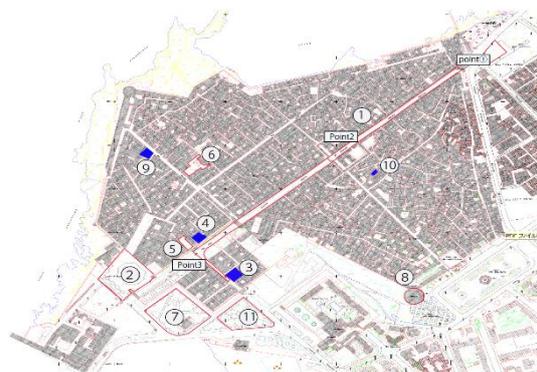
システム情報工学研究科 社会工学専攻
博士前期課程2年 西川藍莉 (201820480)

1. 渡航先

モロッコ・エッサウイラ

2. 渡航期間

2019年6月17日～7月10日
(24日間)



(図1) グナワ祭りの舞台地図

(現地調査で得た地図に筆者作成)

3. プロジェクト背景

本プロジェクトは、筆者の修士論文である「エッサウイラ旧市街における都市空間と祭りの関係性から見る祝祭空間の都市形態に関する研究 ～グナワワールドフェスティバルを事例として～」の執筆に伴う現地調査として位置を成している。

研究対象としている「グナワワールドミュージックフェスティバル」(以下グナワ祭りと呼ぶ)の特徴はその「舞台」にある。舞台は、エッサウイラ旧市街内外のレストラン・ホテル・文化センターなどの室内空間と、広場・街路などの屋外空間といった、歴史あるエッサウイラ旧市街の特徴ある都市空間を幅広く活用している。しかしグナワ祭りについて述べられた既往研究は人類学的・民俗学的に研究されたものはあるものの、都市形態の観点から述べられた研究は存在しない。そのため本研究では都市形態の視点から、グナワ祭りがエッサウイラ旧市街の都市空間に作り出す祝祭空間について考察する。

また筆者は社会・国際学群 国際総合学類在籍中に2015年8月から2016年5月の期間、モロッコに交換留学をしていた経験があり、その時の知見や言語力を活かし、本プロジェクトの現地調査に臨む。

このような背景のもと、2019年6月17日から7月10日の24日間に現地調査を行った。

4. 目的

筆者の修士論文である「エッサウイラ旧市街における都市空間と祭りの関係性から見る祝祭空間の都市形態に関する研究 ～グナワワールドフェスティバルを事例として～」の執

筆に必要なデータを得る事を目的とする。データは祝祭時・日常時空間調査、アンケート調査、ヒアリング調査、文献調査によって取得する。

5. 実施内容

5-1 祝祭時空間調査

祝祭時空間調査では、今年の祭りの舞台である14カ所の内、旧市街内・近辺にある11カ所の舞台を対象に、1)観客と担い手の動きと居場所 2)屋台 3)舞台 4)装飾物、に着目をし、記号を使用し地図や紙上へマッピング、写真・動画撮影、定点カメラ撮影を行った。

5-2 日常時空間調査

日常時空間調査では、祝祭空間調査同様の11カ所に加え、過去の祭りの舞台場所(5カ所)を対象にその空間の1)建物 2)店舗 3)人の動き に着目をし、地図・紙上にマッピング、写真・動画撮影、定点カメラ撮影を行った。

5-3 アンケート調査

観光客・住民の二軸の視点からグナワ祭りを理解する事を目的に調査を行った。

5-3-1 観光客アンケート

モロッコ国内外から訪れた観光客50人に対してアンケート調査を行った。

アンケートの目的は2点あり、まずはグナワ祭りに対しての観光客評価を知る事、次にグナワ祭りの舞台が旧市街内の歴史ある都市空間で行われている背景から、グナワ祭りの前後で、都市空間に対しての認識度にどのような変化があるかを明らかにすることで、旧市街内に舞台が置かれる事の意義や、祭りによって祝祭空間に変貌することにより都市にどのような影響を与えるか述べる事であった。

5-3-2 住民アンケート

エッサウイラ旧市街で働く、もしくは居住しており1日の大半を旧市街内で過ごす地元の人々50人に対してアンケート調査を行った。

アンケートの目的は観光客同様に2点あり、1つはグナワ祭りに対して地元民の評価を知る事である。また観光客へのアンケートとは異なり、舞台の日常時の利用や旧市街全域について熟知している住民による空間利用評価など深堀した。2つ目に住民の旧市街への関心度を知る事である。

5-4 ヒアリング調査

グナワ祭りの運営に携わっていた団体や、エッサウイラ旧市街の保全や開発に携わっている行政、祭りの舞台になった施設の責任者など合計7名に、祭りと都市の2軸から話を伺い、また地図などの必要な資料を得た。

5-6 文献調査

文献調査はエッサウイラ旧市街で2カ所、カサブランカ市内で1か所にて行った。

旧市街内では、Essaouira-Mogador Associationの本部が存在する「Dar Souiri」内の図書

館、フランス語学学校やギャラリーがある「Institut Francais D'Essaouira」内の図書館で、エッサウィラ旧市街の歴史文献・過去のグナワ祭りのパンフレット・グナワ音楽が記載されている書籍を入手した。また、カサブランカ市内にある「Fondation du Roi Abdul-Aziz Al Saoud pour les Etudes Islamiques et les Sciences Humaines」図書館では、エッサウィラ旧市街の歴史文献を入手した。

6. 成果

祝祭・日常空間調査からは、グナワ祭りがどのように都市空間を舞台として利用をしているのか、またその場所の日常時の空間利用を知る事で、グナワ祭りの舞台となる空間を明らかにした。アンケート調査からは、外部から訪れる観光客と地元の人々との祭り評価の相違点や、旧市街内が舞台となる事で変化する観光客の都市に対する認知度の変化や舞台の選出場所の共通点を知った。ヒアリング調査では、祭りの運営やグナワ音楽、都市の歴史に関する知見得た事に加え、インターネット上では得る事が出来ない申請が必要な重要なデータを得た。文献調査では、グナワ音楽やエッサウィラの歴史に関する本 15 冊を得た。現地で得たこれらのデータを今後分析していき、修論の目的である観光的な祝祭空間としてのグナワフェスティバルが、特徴ある様々なエッサウィラの都市空間において、どのように実現されているのかを分析し、通常時における都市空間との比較からその特徴を明らかにしていく。

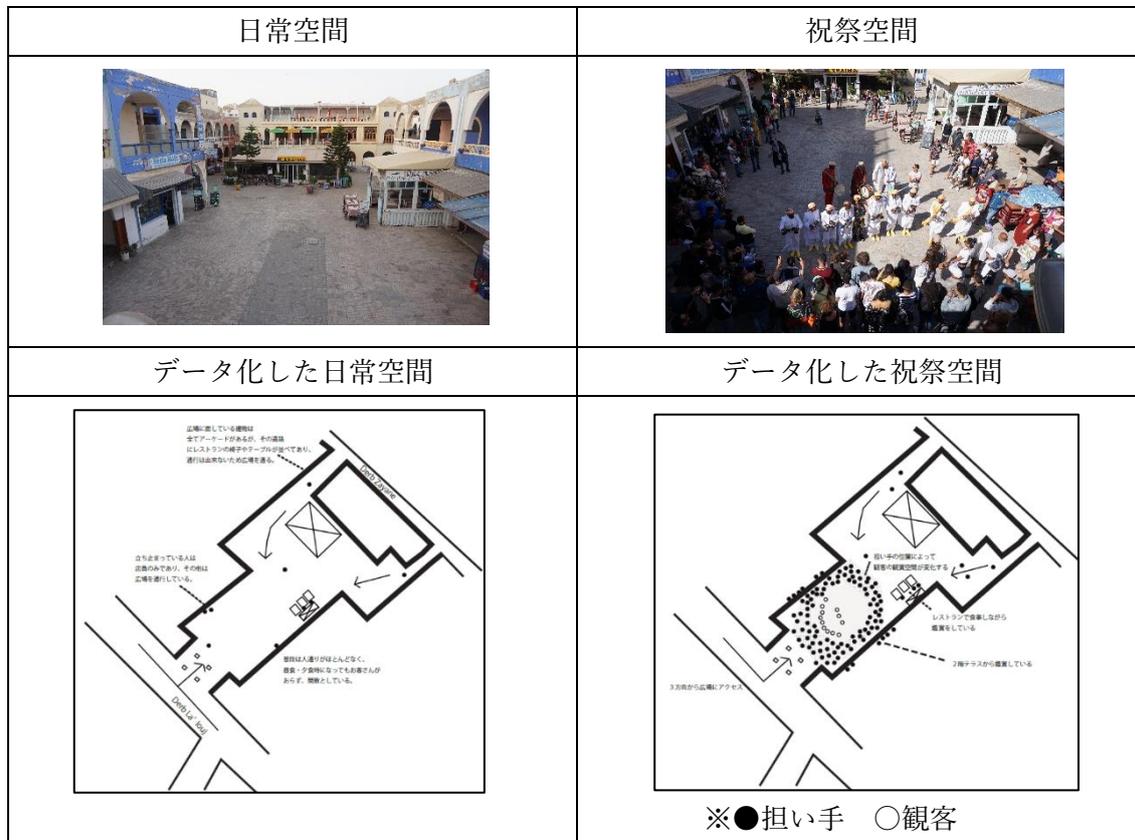


図2 (一例) データ化した祝祭・日常時の Place El Klima の図 (筆者撮影)